

「圏央道の宝物 グランプリ 2021-2022」 しんきん圏央道アライアンスにて開催

埼玉縣信用金庫（本店：熊谷市 理事長：池田 啓一）を含む圏央道沿線の5つの信用金庫による連携協定「しんきん圏央道アライアンス」は、圏央道沿線地域の生産者・製造事業者同士のコラボレーションによる新たな商品開発や広域での発信を応援するため、「圏央道の宝物 グランプリ 2021-2022」を開催いたします。

この取り組みは、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム「信用金庫の広域連携による圏央道沿線地域の『地域資源』『地域産品』の発掘・発信プロジェクト」の一環として実施し、昨年に引き続き2度目の開催となります。地方の原石を全国・世界レベルのヒット商品に育てる「にっぽんの宝物プロジェクト」と共催するものです。

1. 「圏央道の宝物 グランプリ 2021-2022」の概要

本年9月より、3回にわたって開催された、リアルとオンラインを融合したハイブリッド型の「圏央道の宝物 セミナー」を通じて、圏央道沿線地域の生産者・製造事業者等が、自社商品のブラッシュアップや、参加者同士のコラボレーションによる新商品開発に取り組んでまいりました。その成果として、本グランプリでは18事業者が開発した商品を発表し、その中から優秀な商品を「圏央道の宝物」として表彰いたします。

開催日時	2021年11月18日（木）10時～18時
会場	信金中央金庫 京橋別館（東京都中央区京橋3-8-1）
実施部門	①調理・加工部門 ②SDGs部門 ③新体験部門 ④スイーツ部門
出場者数	18事業者（複数事業者によるグループを含む）
主催	しんきん圏央道アライアンス（水戸信用金庫、千葉信用金庫、平塚信用金庫、多摩信用金庫、埼玉縣信用金庫）、にっぽんの宝物 JAPAN 事務局
協力	信金中央金庫、アルピン株式会社

2. 「にっぽんの宝物プロジェクト」について

各地域の生産物、商品、技術を自治体や商工会等と協力しながら、1～3次産業の「コラボレーション」、事業者の「アクティブラーニング体験」をキーワードに、国内外に紹介・販売支援を行うプロジェクトです。株式会社アクティブラーニング（本社：東京都港区、代表取締役社長：羽根 拓也）、にっぽんの宝物 JAPAN 事務局が各地域の自治体等と連携しながら全国規模で実施しております。

3. 「しんきん圏央道アライアンス実施プロジェクト」について

しんきん圏央道アライアンスは、圏央道沿線に本・支店を置く 5 つの信用金庫が、地域貢献・地域創生を通じて地域経済の発展につなげることを目的とした協定です。

本プロジェクトは、日本財団「わがまち基金」からの助成を受け、圏央道沿線地域の活性化、にぎわいの創出を目指し、「地域資源」と「地域産品」の地域ブランド化、魅力発信に取り組んでおります。

【協定締結金融機関】

水戸信用金庫（茨城県水戸市）、千葉信用金庫（千葉県千葉市）、平塚信用金庫（神奈川県平塚市）、多摩信用金庫（東京都立川市）、埼玉縣信用金庫（埼玉県熊谷市）

本件のお問合せ

埼玉縣信用金庫 地域創生部：藤井・高亀・矢口・澤田 総合企画部：吉田

電話：048—526—1111 URL：<https://www.saishin.co.jp>